

中学・高校用人間生物学、健康教育の教科書

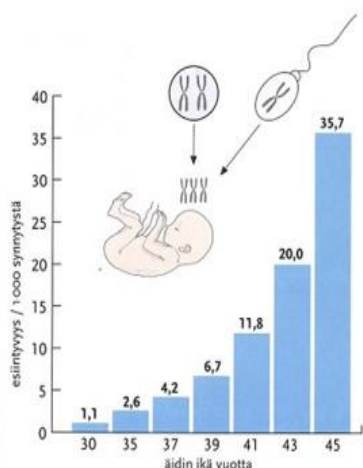


- 人間生物学は、人間の性や生殖について生理学的に詳述。

例えば、中学では母親の年齢と染色体異常児の出現率や避妊方法とその仕組み、性的指向にもふれるものがあるなど。高校では、高年齢と妊娠率低下、不妊治療などが取り上げられる。

- 健康教育は、人間の性や生殖についても述べているが、ジェンダーの多様性や性的指向、性自認を含む性の多様性、親密な関係性への発展について述べるなどの特徴がある。

• 母親の年齢と染色体異常児の出現率 2013年入手フィンランドの中学人間生物学



95B Downin oireyhtymää sairastavilla on yksi ylimääräinen kromosomi (21) soluissaan.

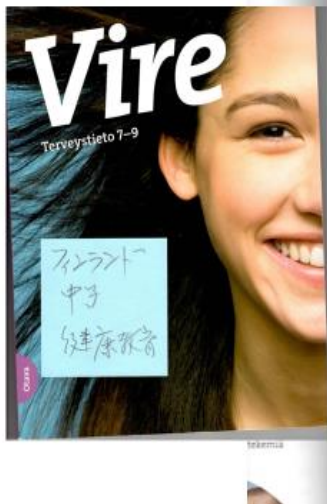
95A Iäkkäillä vanhemmilla on suurempi riski saada Downin oireyhtymää sairastava lapsi kuin nuoremmilla.

Sukupuolikromosomien poikkeamat

2013年入手フィンランドの中学 人間生物学 避妊の説明箇所



2018年入手 フィンランドの中学『生物学』より



2010 Gay Pride -kulkueella puolustetaan seksuaalivähemmistöjen yhtäläisiä oikeuksia.

Monenlaista seksuaalisuutta

Seksuaalinen suuntautuneisuus on iso osa seksuaalisuutta. Seksuaalisten tunteiden kohde ja se, millaisista asioista saa mielihyvää, kertoo seksuaalisen suuntautumisen. Se voi myös vaihdella eri elämäntilanteissa. Varsinkin nuorilla on usein tunteita niin samaa sukupuolta kuin vastakkaisesta sukupuolta olevia kohtaan. Tämä ei kuitenkaan vielä kerro mitään seksuaalisesta suuntautumisesta, vaan on normaali kehitysvaihe oman seksuaalisuuden etsinnässä.

Hetero, homo vai bi?

Työvästi yhteiskunnassa hyväksytty ja yleisin seksuaalinen suuntautuminen on heteroseksuaalisuus. Siinä tunteiden

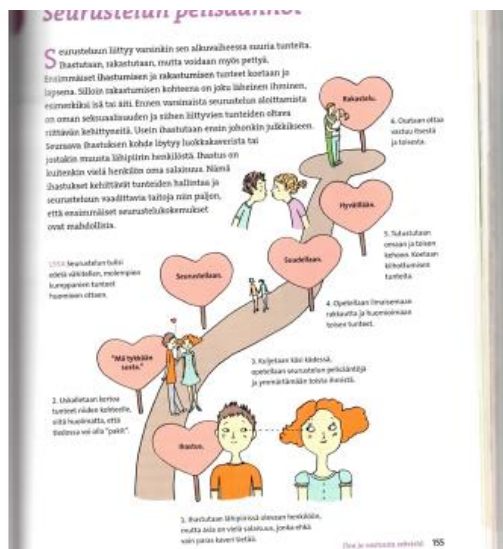
Homo- ja bioseksuaalit

Vainka heteroseksuaaleja onkin suurin osa väestöstä, myös homo- ja bioseksuaalisuus on hyvin yleistä. Noin 10–30 % ihmisistä on homo- tai bioseksuaaleja. Tärkeä lukemäärä on vahva tunte, koska kaikki eivät tae esille omaa seksuaalista suuntautuneisuuttaan. Tämä johtuu siitä, että homo- ja bioseksuaaleja usein arvostetaan ja syrjitään heidän seksuaalisen suuntautumisensa vuoksi.

Transsukupuolisuus

Osa ihmisistä kokee olensa toista sukupuolta.

2013年入手
フィンランドの中学用健康教育



2018年入手フィンランドの中学『健康教育』より



2013年入手
フィンランドの高校『健康教育』



2018年入手
高校『人間・環境・健康』



フィンランドで昨年 12 月に首相になったサンナ・マリンは 34 歳の女性で、5 つの政党の連立政権（5 政党とも党首がすべて女性）です。閣僚は女性が 12 人、男性が 7 人、平均年齢は 47 歳、女性の国会議員は 46%と、ジェンダー平等度の高さと若さが顕著です。性をめぐる法制度については、性的同意年齢（性行為の同意能力があるとみなされる年齢の下限）は 16 歳で、相手が同性でも異性でも同じです。避妊のためのピルの合法化は他の北欧諸国と同様 60 年代初め（1961 年）、人工妊娠中絶の合法化は 1970 年。中絶は理由の別なく、原則として個人の自由に任されています。同性愛の合法化は 1971 年、パートナー法成立が 2002 年。2017 年からは、同性愛者も異性愛者と同様の法律婚ができるようになりました。

フィンランドは 1970 年代以降、人間性や個人の幸福に対して、ルーテル福音教会の説く道徳性よりも科学性がより重視されるようになり、性的問題に対しても、適切で健康な性行動を説く医学的・心理学的対応を重視するように次第に変化してきたのです¹⁾。

フィンランドの教育制度は、基礎教育を行う総合制学校 9 年制(付加 10 学年、7～16 歳)、その上に 3 年制の普通高校(ルキオ)と職業高校、その後的高等教育があります。教育はいずれも無償で、性教育は 1970 年代のはじめから必修です。性に関連する教育は、主に、総合制 3～6 学年の「環境」と、7～9 学年と高校の「人間生物学」と「健康教育」で扱います。

総合制学校は義務制で共通のカリキュラムですが、高校の場合、職業高校は「健康教育」はなく、「人間生物学」のある学校も少ないため、総合制 7～9 学年の学習内容が重要です。

2004 年の総合制学校のナショナル・コア・カリキュラムにおける 8 学年（14 歳）の「性教育」項目の評価基準として、「健康教育」では、性的健康の基本を知る、避妊の重要性と方法を知る、それを性行動に反映させることができる、責任のある性行動を正しいとする等、「生物」では、セクシュアリティの多様な現れ方を説明する、生殖細胞・性交・受精・妊娠経過・誕生などを普通の言葉で説明するがあげられています。生徒が知識を習得するだけでなく、自分の言葉で説明し、行動に反映させられるようになることが求められています。

2014 年に改訂されたナショナル・コア・カリキュラム²⁾でも、この内容は基本的に引き継がれ、新たに、平等のための教育計画には、2014 年に改正された反差別法に言及する事が加わりました。反差別の対象の一つに性的指向もあげられています。2004 年段階では、人間の多様性や個人の発達、ジェンダー平等の尊重という表現でしたが、改訂版ではジェンダーの多様性がより具体的に取り上げられ、性自認とセクシュアリティの発達に関する理解と実践についても言及されています。掲載の教科書は 2013 年に入手したものと、ナショナル・コア・カリキュラム改訂後の 2018 年に入手したものですが、性の多様性については一貫して取り上げています。これは、教科書検定制度がないこととも関係があります。

2013 年に訪問したヘルシンキにあるフィンランド**家族連盟**では、ちょうど男子向けのインターネット用ゲーム（性知識の獲得を競うゲーム）を開発・発表したところでした。ここは、教師用の性教育ガイドブックの作成や、子どものためのクリニック、男性向け無料の電話相談などの活動をしています³⁾。ユヴァスキュラの公立キルピセン中学校では、歩いて 5 分ほどの市営病院の一角にある**子どものための家族計画アドバイスセンター**に、毎年 8 年生が訪問するようにカリキュラムで決められています。最初は教師が引率して行って、2 時間の授業を受けることになっており、クラミジアの尿検査や妊娠テストなどを体験します。ピルも 6 か月無料でもらえます。このような子どものための施設は各地で独自に設けられていますが、ヘルシンキには 100 ほどの市立青少年センターや 1974 年創設の同性愛者の団体 SETA なども活動しています。

子どもたちの性の権利と健康を守るために、家庭と学校、地域が連携しているのです。

注

1) Osmo Kontula “Sexual Revolution and Sexual Rights in Finland” *SexuS Journal* 1(1):020,2015, MARCH. 第 2 次大戦で、敗戦国となったフィンランドは 60 年代にソ連への賠償金を払い終え、70 年代に単線型の教育制度の確立・普及や大量生産・大量消費の時代への移行によって、人々の意識も科学的・合理的なものへと変化していったと思われる。

2) NATIONAL CORE CURRICULUM FOR BASIC EDUCATION 2014, Finnish National Board of Education.

3) 詳しくは、橋本紀子「フィンランド」：橋本紀子、池谷壽夫、田代美江子編著『教科書にみる世界の性教育』かもがわ出版、2018 年を参照。